



基本領域 泌尿器科専門研修

連携

- 京都大学広域連携専門研修プログラム
- 兵庫医科大学泌尿器科専門研修プログラム
- 兵庫・岡山地域泌尿器科専門研修プログラム

1. 泌尿器科の理念・特色

- ① 但馬地方の基幹病院の泌尿器科として、尿路悪性腫瘍、尿路結石、前立腺肥大症などの症例が集中している。
- ② 当科では尿路男性生殖器の腫瘍、尿路結石、尿路性器感染症、排尿障害、女性骨盤底疾患など広範囲な疾患の診断、治療を行っている。
- ③ 悪性腫瘍の手術の中心は腹腔鏡手術で、近年増加傾向である。従来の腹腔鏡下腎摘出術、副腎切除術に加え、2014年から腹腔鏡下前立腺全摘術、腹腔鏡下腎部分切除術、2017年から腹腔鏡下膀胱全摘術を開始している。
- ④ 近年急速に増加している前立腺癌の検査では、原則外来で前立腺生検を行っている。
- ⑤ 転移性腫瘍に対しては、様々な化学療法剤や分子標的薬などによる治療を積極的に行っている。
- ⑥ 骨盤臓器脱、腹圧性尿失禁などの女性特有の疾患に対し、2016年から女性泌尿器科外来を設置し、メッシュを用いた根治術(LSC,TVM,TOT)を積極的に行っている。
- ⑦ 尿路結石の治療は、体外衝撃波結石破碎装置(ストルツ社製モジュリス)による日帰りの破碎術を中心とし、その他、経尿道的破石術(TUL)、経皮的破石術(PNL)などの内視鏡手術を行っている。
- ⑧ 慢性腎不全に対して、腹膜透析(CAPD)を行っている。
- ⑨ 月曜朝に文献抄読会、夕に症例カンファレンス、水曜夕に薬剤勉強会または腹腔鏡手術検討会、木曜朝に病理カンファレンス、金曜朝に画像カンファレンスを行っており、スタッフ一同で治療方針の検討を行い、標準的治療に即した医療の実践を心がけている。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師であるという基本姿勢のもと、

1. 泌尿器科専門知識
2. 泌尿器科専門技能: 診察・検査・診断・処置・手術
3. 継続的な科学的探求心の涵養
4. 倫理観と医療のプロフェッショナリズム

の4つのコアコンピテンシーからなる資質を備えた泌尿器科専門医を目指す。

イ. 経験できる診療、技術

指導医のもと腹腔鏡手術、ロボット手術、開腹手術の執刀医として経験を積めます。

執刀手術: 前立腺生検、膀胱鏡、逆行性腎盂造影・尿道カテーテル留置、経尿路的膀胱腫瘍切除術、経尿路的尿路結石破碎術、経尿路的前立腺切除術、尿道カルンクル切除術、陰嚢内手術、包茎手術、前立腺全摘術、腹腔鏡下腎・尿路悪性腫瘍手術、腹腔鏡下副腎摘除術、PNL、ESWL など

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝	8:15～抄読会			8:15～病理カンファレンス	8:15～レントゲンカンファレンス	
午前	手術	外来	外来	手術	手術	
午後	手術	ESWL	手術	手術	手術	
時間外						

4. 指導医・スタッフ

顧問 たき ようじ
瀧 洋二

出身 京都大学 S52

専門	泌尿器科疾患全般, CAPD
認定	日本泌尿器科学会専門医・指導医

副院長
兼部長 しらはせ としあき
白波瀬 敏明

出身 京都大学 S61

専門	泌尿器科疾患全般
----	----------

部長 わたなべ じゅん
渡部 淳

出身 筑波大学 H5

京都大学医学博士 H20

専門	泌尿器科疾患全般
認定	日本泌尿器科学会専門医・指導医, 日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医, 日本内視鏡外科学会技術認定医

医長 うえがき まさゆき
植垣 正幸

出身 鳥取大学 H16

専門	泌尿器科疾患全般
認定	日本泌尿器科学会専門医・指導医, 日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医, 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

医長 うえむら ゆういち
植村 祐一

出身 山口大学 H19

専門	泌尿器科疾患全般
認定	日本泌尿器科学会専門医・指導医

専攻医 こてらざわ しげき
小寺澤 成紀

出身 京都大学 H28

専門	泌尿器科疾患全般
----	----------

5. 診療設備等



手術支援ロボット「ダヴィンチ (da Vinci Xi サージカルシステム)」米国インテリイヴ・サージカル社(平成 29 年度導入)

6. 診療実績

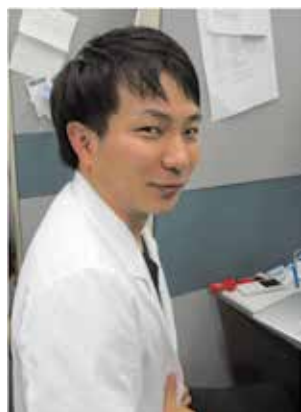
		2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
手術件数		469	482	504	535	597
膀胱全摘出術	ロボット支援	-	-	-	-	13
	腹腔鏡	-	-	8	10	0
	開腹	11	8	0	0	0
前立腺全摘出術	ロボット支援下	-	-	4	79	56
	腹腔鏡	42	59	40	0	0
	開腹	1	0	0	0	0
腎(尿管)全摘出術	腹腔鏡	16	20	28	28	25
	開腹	5	3	0	0	0

腎部分切除術	ロボット支援下	-	-	-	5	14
	腹腔鏡	6	5	4	2	0
	開腹	3	1	0	1	0
陰茎癌手術		2	1	1	0	5
高位精巣摘除		3	2	6	2	4
TURBT		175	155	143	142	161
TURP		30	33	32	27	39
TUL		58	62	53	39	94
PNL		8	16	2	5	6
LSC		0	0	14	27	7
TOT,TVM		3	1	8	3	3
停留精巣		3	9	10	5	3
CAPD 手術		10	4	5	3	3

7. 学会認定施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設

専攻医の声



小寺澤 成紀 専攻医

豊岡の地で後期研修が始まり、もうすぐ二年が経とうとしています。

私は兵庫県の加古川という土地で育ち、京都の大学を出た後、大阪の梅田で初期研修を終えました。京都での学生時代は楽しい毎日、梅田はさらに遊ぶところも多く非常に忙しい日々でした。そんな梅田で浮き足立った初期研修をしていたため、漠然と将来に少し不安を持っていたように覚えています。初期研修の間に、私は学生時代から志望していた泌尿器科を志すことに決め、豊岡病院には大学の教授の推薦により決まりました。

豊岡病院で後期研修が始まり、率直なところ、これほど充実した日々が過ごせるとは思ってもいませんでした。

泌尿器は内科であり外科でもある幅広い科のため、多くの事を経験し、考え、覚えていく必要があるのですが、指導医の先生方はいつも適度な距離で見守り、時に助言を下されます。内科医として私の好奇心を毎日刺激していただき、外科医として多くのチャンスや、飴とムチで日々成長させていただいています。

またこの度、手術の勉強のため指導医や院長の計らいで半月ほど他病院に見学に行かせていただきました。自分のような立場にもかかわらず、代表として勉強させていただく機会をいただき、責任や自覚を促されました。

また近くに大きな病院がほとんどないため、豊岡病院の医療エリアはとても広範囲に及びます。多くの症例が集まり、同時に北兵庫の最後の砦という重責を担っています。

指導して下さる先生方、病院の環境を考えると、後期研修医として能力を伸ばすことに関して豊岡病院は大変恵まれていると心から思います。

豊岡の地は、大阪や京都はもちろん、自分が育った加古川よりも街の規模としては小さく、交通の便も不便ですが、スキーやキャンプ、マリンスポーツといった都心とは違った娯楽で案外週末は楽しく過ごせます。都会でないと働きたくないという人でなければ本当に恵まれたいい病院だと確信しております。

私を豊岡病院に勧めてくださった大学の教授に感謝しながら、皆様とともに働ける日が来るよう、豊岡の地からお待ちしております。